

令和6年度 福井市の認定こども園、保育所等における質の向上のためのアクションプログラム vol. 3
No.109 湊保育園

カテゴリー		園での取り組み (具体的なアクション内容・それを実現するための具体的な方法・手段)	年度末達成度 (◎・○・△・×)	備考
I 子どもの育ちを保障します	幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針等に基づき、福井の豊かな環境を生かした質の高い乳幼児の教育・保育を提供します	(1) 保育指針に基づいて、職員間で子どもの姿を捉え、保育を振り返り、課題にそった保育を行う。	(1) ○	
		(2) 保育内容について職員の自己評価や保護者アンケートを行い、評価反省を活かし保育の質の向上を図る。	(2) ○	
		(3) 保育カウンセラーや専門機関と連携を密にし、一人一人に合わせた関わりや支援方法を学び実践する。	(3) ◎	障がい児研修を行い、個々に合わせた支援方法を学ぶことで保育力の向上につながった。
		(4) 安全の心得や危機管理マニュアルに基づく実践を行うと共にヒヤリハットによる見直しを行う。	(4) ○	
	保育者等の専門性及び資質の向上を図ります	(5) みあいっこ研修など園内研修を充実させ、職員間で学びあう機会を設ける。	(5) ○	
		(6) 施設長としての研修参加及び県内外の動向を情報収集する。	(6) ○	
		(7) 職員の積極的な研修参加に向けた計画及び体制づくりを行う。	(7) ○	
II 子育てライフを支援します	認定こども園、保育所等を利用する保護者への支援の充実を図ります	(8) 個人懇談や保育参加、送迎時の情報交換や育児相談を行い、保護者とともに考え支援していく。	(8) ○	
		(9) 様々な配慮を必要とする家庭へ、育児力向上のための支援を行う。	(9) ○	
	地域子育て家庭への支援の充実を図ります	(10) 園開放を行い遊びの場の提供及び、保護者に寄り添った育児相談を行う。	(10) △	園開放への参加数は少なかった。もっと情報発信していきたい。
		(11) 福井市の子育て支援に関する情報を提供する。	(11) ○	
		(12) 育児相談及び援助への知識及び技術向上のための研修に参加し子育て支援力の向上を図る。	(12) ◎	園内研修を行い、全保育職員で家庭支援について学びあう機会を持つことができた。
III 多様な連携と協働を進めます	子育て・子育て支援のネットワークの中で認定こども園、保育所等の役割を發揮します	(13) こども家庭センターやこども療育センター、専門機関との連携を図り保育に活かす。	(13) ◎	気がかりな子や家庭についてケース会議等、必要な情報連携を行うことが出来た。
		(14) 保幼小接続会議に参加し、情報交換を行う。	(14) ○	
		(15) 小学校との連携会議に参加し、子どもの育ちを共有していく。	(15) ◎	個別の丁寧な連携会議を持つことが出来た。
		(16) 子育て支援に関わる関係機関事業の把握と情報提供を行う。	(16) ○	
	地域の教育・保育機能を強化します	(17) 地域の民生児童委員と情報を共有し、地域の子育て環境の実情を把握すると共に必要な支援につなげる。	(17) △	定期的な情報の共有は行えたが、もっと地域の子育て支援へつなげていけるとよかった。
IV 子育て文化を育みます	子育てへの関心を高めます	(18) 保育体験を受け入れ、子どもと触れ合う機会を設ける。	(18) ○	要望のあったものは受け入れを行ったが、もっと受け入れの機会がもてるようにしたい。
		(19) 行事やドキュメンテーション配信などを通して、保護者や地域に、園への理解を深めてもらう。	(19) △	もっと地域への発信をしていきたい。
	子育て文化につながる活動を広げます	(20) 苗植えやさつまいも掘り体験を通して地域の方との交流を深める。	(20) ○	
		(21) 地域の行事や文化などを知り、地域の祭り等地域行事への参加を行う。	(21) ○	
V 安心して子どもを 生み育てる支援づくりを進めます	子ども・子育て関連3法に基づくこれからの乳幼児の教育・保育について研究を進めます	(22) 社会の動向に合わせて園としての役割について研修し、職員の共通理解を図る。	(22) ○	
		(23) 研修で得た情報を職員間で共通理解する。また、個人情報保護法などについて周知徹底する。	(23) ○	
	社会連帯による子育て支援の仕組みづくりを進めます	(24) アクションプログラムに基づいた活動計画案を作成し、実施する。	(24) ○	

《園での取り組み》 24のアクションから、取り組む内容(番号)と具体的な取組みを記載する。

《達成度》 ◎：当初計画していた目標を大きく上回り、優れた成果を上げた。 ○：計画どおりに取り組み、概ね目標を達成することができた。 △：不足する部分や問題があった。 ×：目標を達成することができなかった。

《備考》 達成度についての特記事項や次年度に引き継ぎたいことなどを記載する。